



# “ニュージーランド ラグビーキャンプ”

## クライストチャーチ ボイズハイスクール プログラム 2024



■ 2023NZ キャンプより（CBHS 校との親善試合後、両軍の選手たち）

### 日程

2024年8月15日(木)ー8月23日(金)

#### 目的:

ラグビー大国ニュージーランドのラグビー強豪高校では高校生をどのような環境でどのように指導しているか？

ニュージーランドの高校における恵まれた「学校ラグビー」の基盤を体験し、試合、練習、ホームステイなどを通して個々のラグビー技術向上と共に、地元の人達との交流をはかり、  
教員・生徒の「ラグビーに対する自己啓発」を語るプログラムです。

このプログラムでは、生徒ひとりでも参加できニュージーランドラグビーを体験できる機会を提供、ニュージーランドでのラグビー体験を通じ自己啓発や国際理解教育に貢献します。  
指導者には、学校内に 23 チームをもつ NZ 公立校のラグビー管理、育成指導法、トレーニングシステムなどを学んでいただけます。

- \* 現地NZ高校との練習試合、
- \* NZ高校生と合同練習、
- \* 現地の試合観戦、
- \* NZ 高校でのトレーニングなどを含む

#### 企画:

日本ニュージーランドセンター

#### NZ 受入:

NZ 公立男子高校 クライストチャーチボーイズハイスクール

#### CBHS 校とは



Christchurch Boys' High School(CBHS)は、1881年創立、生徒数は1404名(2017年現在)文武両道を信条とするニュージーランドを代表する名門校です。学問、スポーツともに好成績の獲

得を目標とし、音楽、美術、演劇、文芸領域でも多くの受賞歴があり高等教育機関への進学率が高く、スクールカラーは青と黒が特徴的な制服を着用。

CBHS 校は 1996 年にラグビーがプロスポーツになって以来、間違いなく世界でナンバーワンのラグビー校となっています。これまでに 45 名のオールブラックス選手を輩出し、1996 年ラグビープロ化以来これほど多くの国際的な選手を生み出している学校は世界のどこにもないと言えます。CBHS 校はこれまでオールブラックス 15 名、日本代表 3 名、アメリカ代表 1 名、アイルランド代表 1 名、オールブラックスコーチ 2 名を輩出しています。2013 年の無敗オールブラックスメンバーには、CBHS 校出身の選手 7 名とヘッドコーチが含まれていました。1996 年以來 65 名がプロのラグビー選手として活躍しています。

CBHS ラグビーの成功の秘訣は、学業の努力と、ラグビーの卓越性、文武両道という同校の理念に基づくものです。同校のラグビープログラムは、リーダーシップ、イニシアティブ、バランスの卓越性の追求に焦点をおいています。

\* CBHS 校には 530 名のラグビー選手、U13—U19 まで 23 チーム、

\* コーチ 44 名、マネジャー 23 名、理学療養士 2 名、ウエイト・インストラクター 1 名、コンディショニングコーチ 2 名が在籍

\* ラグビーフィールド 4 つ、校庭 6ha、体育館 2 棟、全天候型トレーニング施設 1 棟

担当:



Mr Nic HILL  
校長



Mr Carl EVERETT  
国際部長



Mr Rob Smith  
1 軍コーチ

手配: ニュージーランドの受入手配はクライストチャーチボーイズハイスクールです。同校が行程に必要な現地全ての受入手配を行い、行程に学校職員を帯同させ、ラグビーキャンププログラム遂行に積極的協力体制を整備します。

宿泊: クライストチャーチ市内: 学生: CBHS 校ラグビー選手宅にホームステイ  
教員: 市内モーテル(原則として 2 名 1 室)  
(※CBHS 校が全ての宿泊手配を行います。)

■ 日程: 2024 年 8 月 15 日(木)~8 月 23 日(金) : 8 泊 9 日(機内 2 泊)

■ 参加費: 一人@330,000 円 (学生・教員とも) 旅行諸費用※は別途約 7 万円

※別途旅行諸費:(空港諸税、燃油、ビザ、保険、生徒用高体連試合ジャージ)

(但、教員の方はホテル 2 名 1 室の料金。1 人部屋希望の場合は別途費用)

(費用は、提案書提出日で算出、料金など変動の場合は変更させていただく場合がございます。)

(関西空港までの交通費は各自別途)

■ 申込締切: **2024 年 6 月 14 日(金) 17:00 <<生徒申込先着順受付: 30 名>>**

募集人数に達した時は締切前でも募集締切ります。

※希望者は女子も可。但、女子はチーム編成可能な場合に試合出場可。

■ 集合： 関西空港 4階 南側 国際線出発ロビー H チェックインカウンター  
シンガポール航空 カウンター前

集合後、チェックインの前に全国から集合の選手・コーチが顔合わせを行います。

☆☆



企 画 : 日本ニュージーランドセンター  
〒540-0012  
大阪市中央区谷町 1-4-2 大阪オルガンビル 8F  
TEL : 06-6944-3511, FAX : 06-6944-3512



協 力 : ニュージーランド国・クライストチャーチ ボーイズハイスクール  
PO Box8157, Riccarton, Christchurch, NEWZEALAND  
[TEL:64-3-346-5003](tel:64-3-346-5003), FAX: 64-3-348-8121



後 援 : ニュージーランド大使館  
〒150-0047  
東京都渋谷区神山町 20-40  
[TEL:03-3467-2271](tel:03-3467-2271), FAX:03-3467-6843



渡航手配 : ワールドイベントリンク 株式会社:  
〒541-0046  
大阪市中央区平野町 2-5-14 FUKU ビル  
大阪府知事登録旅行業 第 3-2655 号  
TEL:06-6226-8750, FAX06-6226-8751

\*\*\*\*\*  
2023 年ラグビーキャンプより :



## ■新型コロナウイルスへの対策として

■出発から到着まで、飛行機のドアを閉まった瞬間から密閉された空間になると思われがちの機内。「機内の空気は、常に機外から新しい空気を取り入れ機内で循環させ、その後、機外へ排出することにより、概ね 2～3 分ですべて入れ替わる仕組みになっており、機内で循環する空気を清潔に保つための高性能空気フィルターを装備しており、シンガポール航空は、高機能の HEPA フィルターを搭載。高性能空気フィルターは「High-Efficiency Particulate Air (HEPA) Filter」で、0.3 $\mu$ m（飛沫は、一般に直径 5 $\mu$ m よりも大きな水滴とされている）のサイズの粒子に関して 99.97%以上の粒子を捕集するという。HEPA フィルターは多くの空気清浄機にも搭載されている。

### ■ニュージーランドのコロナ対策が成功した訳

大西 淳子 = 医学ジャーナリスト (参照:日経メディカル NEJM 誌 2020/08/31)

#### OECD 加盟国の中で患者数と死者数が最も少なかった理由を検討

ニュージーランド (NZ) は、国全体で厳格なロックダウンを実施し、いったんは市中感染者を完全にゼロにすることに成功し、その状態を 102 日間維持できた。ニュージーランド Otago 大学の Michael G. Baker 氏は、NZ がどのようにそれを達成したのかを NEJM 誌電子版に correspondence として 2020 年 8 月 7 日に報告した。

専門家からの強力な意見を受けて、NZ の首脳陣は、感染抑制をめざす戦略を、ウイルスを排除する戦略に切り替えることにした。3 月 26 日には、このウイルスの警戒レベルを最高値となるレベル 4 に引き上げ、全土で厳格なロックダウンを開始した。その後も、各地で感染者が急増し、国民の多くはロックダウンの効果を疑った。しかし、一定期間を経て新規感染者数は急速に減少し、ロックダウン開始から 5 週間後には、警戒レベルは 3 に引き下げられた。これをきっかけに、一部に緩やかな制限緩和がおこなわれたものの、その後 2 週間はほぼロックダウン状態が続いた。国民へのステイホーム指令は、結局 7 週間にわたった。5 月 14 日に警戒レベルは 2 となり、行動制限は大きく緩和された。

【ニュージーランドのコロナ感染者数】：2020/10/8 現在  
国内感染者：1510, 死者：25, 陽性者：41

### ニュージーランドラグビーキャンプは、

\* 受入先クライストチャーチボーイズ高校の全面的な特別協力体制で実施のプログラムです。高体連グループの受入れに関し懸念されたコロナ禍後に再開されたキャンプのホームステイも高体連グループのため学校をあげて手配され、滞在した生徒さんたちはホストファミリーの温かさにふれ、“また行きたい”と感想を述べています。

ニュージーランドが国境を再開後、**ニュージーランド入国に際し**、新型コロナのワクチン接種証明は不要となりました。ニュージーランド入国に際しては、NZeTA (旅行申告書)の提出のみ必要となり、ニュージーランド入国手続は大幅に簡略化されました。

日本ニュージーランドセンター